

中関地区 地すべり対策



西毛広域幹線道路(安中工区) バイパス整備



県道長久保郷原線(松井田工区) 歩道整備

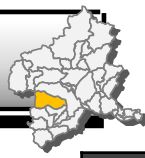
よ く わ か る
公 共 事 業

～ 公共事業の目的、効果、進捗状況を情報発信 ～

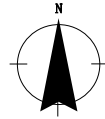
安中地域

令和8年度版

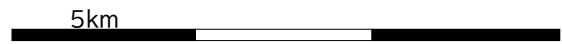
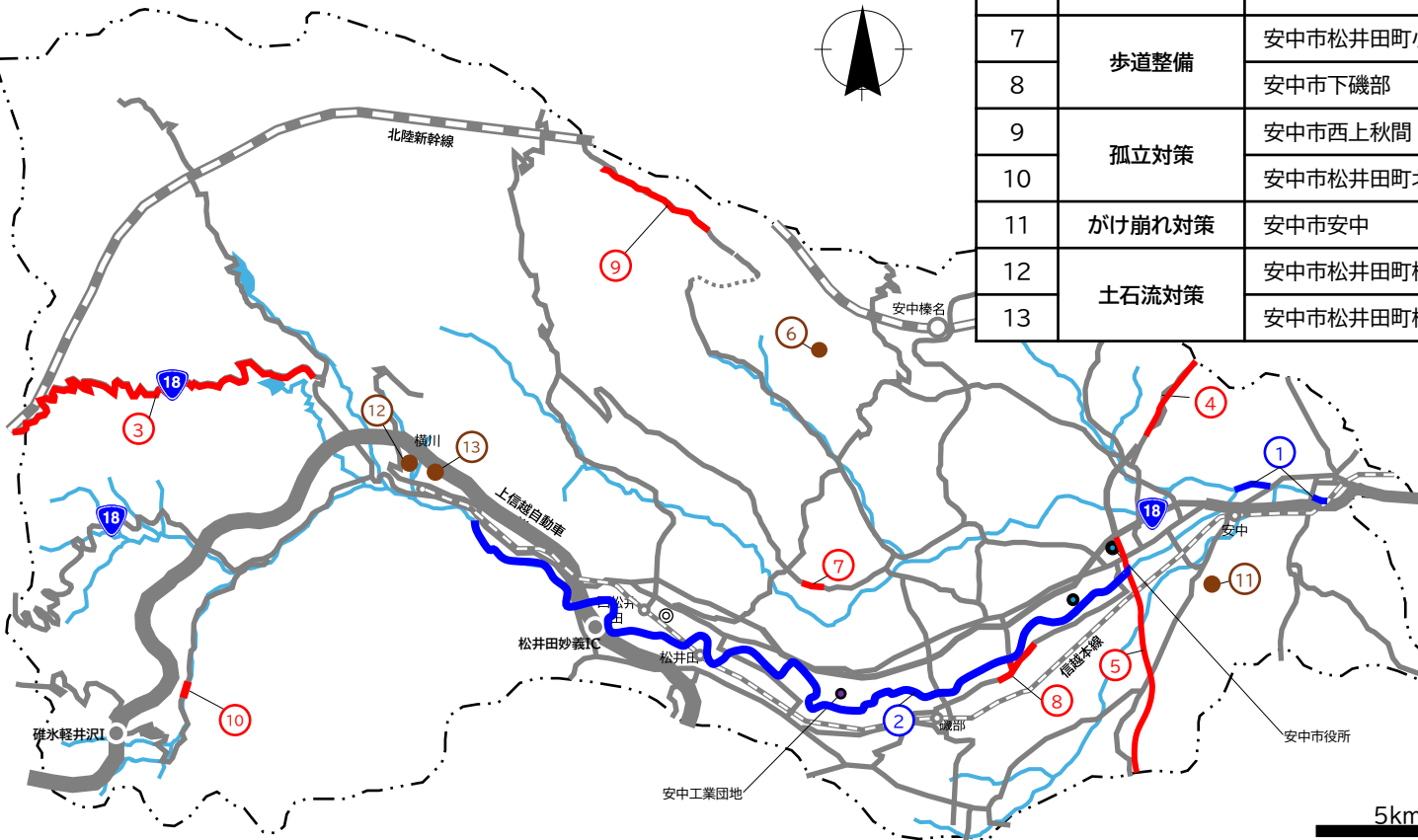
安中地域



凡 例	
【事業分野区分】	
—	道路事業
—	河川事業
●	砂防事業
●	その他事業(下水、住宅等)
【その他】	
●	主要な防災拠点(第1次防災拠点)
●	主要な防災拠点(第1次防災拠点以外)
●	主要な物流拠点(産業団地)



番号	事業内容	施工箇所	路河川名
1	河川改修	安中市板鼻～中宿	一級河川碓氷川(安中工区)
2	河床低下対策	安中市原市～松井田町横川	一級河川碓氷川
3	落石対策	安中市松井田町坂本	国道18号(旧道)
4	バイパス整備	高崎市下里見町～安中市下秋間	西毛広域幹線道路(高崎安中工区)
5		安中市安中～富岡市上高尾	西毛広域幹線道路(安中富岡工区)
6	地すべり対策	安中市西上秋間	中関地区
7	歩道整備	安中市松井田町小日向	県道長久保郷原線(小日向工区)
8		安中市下磯部	県道磯部停車場上野尻線(下磯部工区)
9	孤立対策	安中市西上秋間	県道一本木平小井戸安中線(西上秋間工区)
10		安中市松井田町北野牧	県道松井田軽井沢線(北野牧工区)
11	がけ崩れ対策	安中市安中	中原地区
12	土石流対策	安中市松井田町横川	矢野沢川・大関沢
13		安中市松井田町横川	井戸入沢



どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

堤防を嵩上げて流せる水の量を増やします

地元の声

- ・近年の豪雨で今後堤防から水があふれてしまうのではと心配です。(地域区長)
- ・家が川の近くにあるため、氾濫しないようにしてもらいたい。(地域住民)

事業の概要

- 事業箇所: 安中市板鼻～中宿
- 事業内容: 築堤1,300m
- 事業期間: 平成28年度～
- 事業着手前の流下能力: 約630m³/s
- 計画流量: 1,900～2,000m³/s

事業前

- ◆ 堤防の高さが低いため、洪水時に浸水被害が発生するおそれがあります。

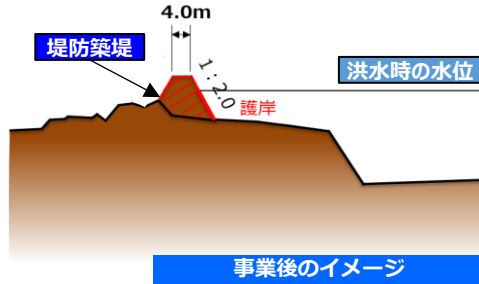
令和元年台風19号の様子



事業前の状況

事業後

- ◆ 堤防を高くすることにより、河川の氾濫による浸水リスクを軽減します。

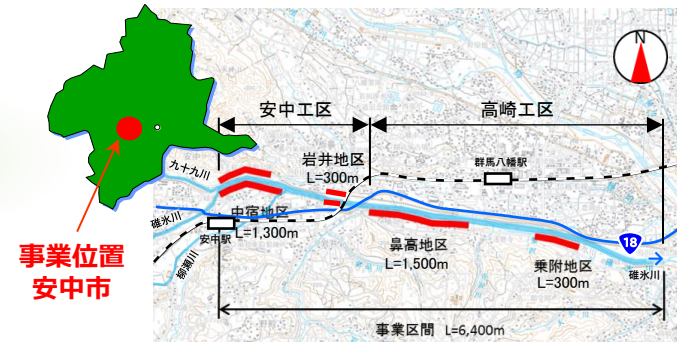


事業後のイメージ

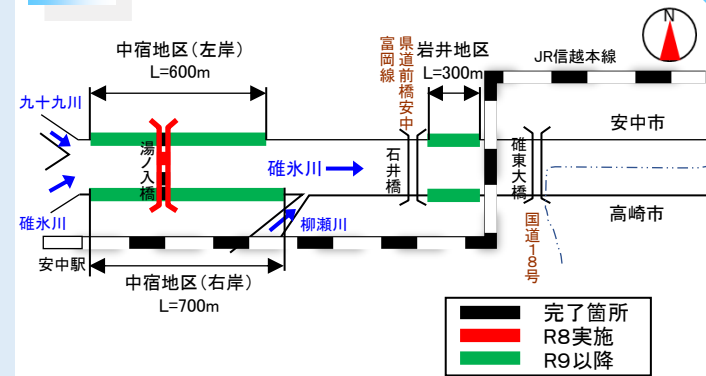
成果を示す項目	実施前
想定氾濫面積	478ha
想定氾濫区域内の浸水戸数	3,286戸

実施後(目標)
0ha
0戸

※碓氷川河川改修事業高崎工区及び安中工区の実施後による効果



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、引き続き堤防予定地の用地取得及び、湯ノ入橋の架替工事を実施します。



一級河川 碓氷川 河床低下対策事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

河川構造物の被害リスク及び河川環境の悪化を軽減するため

河床低下を抑えて 河川構造物を守ります

地元の声

- ・河床が下がっているので、大雨の時に護岸が崩れないか心配です。(地域住民)
- ・様々な生物が生息できる環境にしてほしい。(地域住民)



事業の概要

- 事業箇所: 安中市原市～松井田町横川
- 事業内容: 河床低下対策9箇所
- 事業期間: 平成29年度～

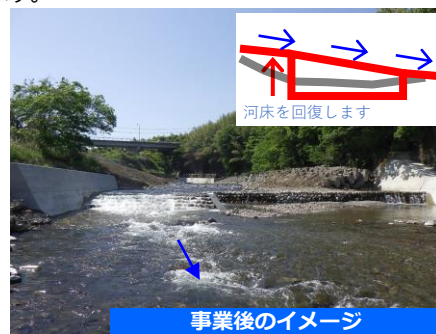
事業前

- ◆ 河床低下が進行し、河川構造物が流出する等の被害が発生するおそれがあります。
- ◆ 河床低下が進行し、軟岩があちこちで露出しており様々な生物の生息環境が減少しています。



事業後

- ◆ 河床低下対策を実施し、河床高を回復させ、河川構造物の安全性を確保します。
- ◆ 様々な生物の生息に配慮した対策を実施し、生息環境を確保します。



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は特に河床低下が進んでいる松井田町新堀地先(⑥箇所)の対策工事を実施します。



成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
河床低下対策必要箇所	9箇所	0箇所

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

道路への落石を防ぐ施設をつくります

地元の声

- ・災害発生時でも障害なく通れる道路にしてほしい。(地元住民)
- ・群馬県と長野県を結ぶ重要なルートなので安全に通れるようにしてほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 安中市松井田町坂本
- 事業内容: 落石対策 17箇所
- 事業期間: 平成30年度～
- 現在の交通量: 598台/日(自動車) (令和3年度)
- 緊急輸送道路区分: 第2次緊急輸送道路

事業前

◆ 法面の浸食が進み、大雨等の際に落石や土砂崩落により道路が寸断するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆ 法面の落石対策工事により、道路への落石を防ぐことで、道路の寸断リスクを軽減します。



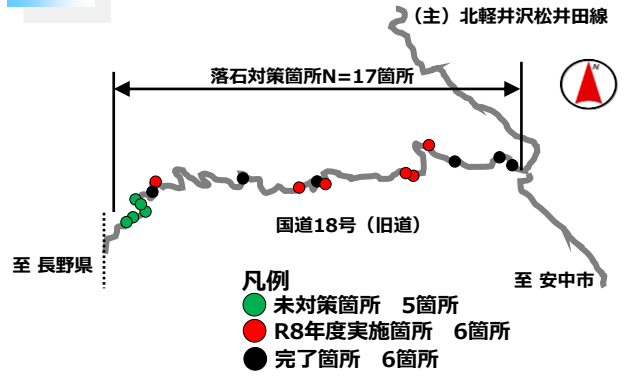
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
落石危険箇所数	17箇所

実施後(目標)
0箇所



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

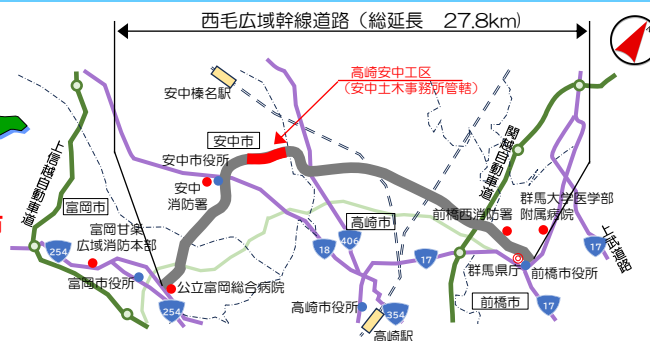
令和8年度は、国有林・保安林内で工事を実施するための手続きを進め、6箇所ですり落石対策工事を実施します。



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路をつくります



地元の声

- ・災害時における安全な広域交通網を確保してほしい。(地元住民)
- ・周辺の都市(前橋市・富岡市)へスムーズに行ける道路がほしい。(地元住民)
- ・生活道路の安全を確保するため西毛広域幹線道路を早期に整備してほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 高崎市下里見町～安中市下秋間
- 事業内容: バイパス整備 延長 3.8km 道路幅 10.5m
- 事業期間: 平成28年度～
- 緊急輸送道路: 該当(第1次緊急輸送道路)

- 現在の交通量: 5,356台/日(現道 自動車)
(令和3年度) 23人/12時間(現道 歩行者)
16台/12時間(現道 自転車)
- 計画交通量: 9,500台/日(バイパス)
(令和22年度) 500台/日(現道)

事業前

◆ 現道では通勤時間帯を中心に交通渋滞が発生しており、移動に時間がかかるため、高崎・安中～富岡を結ぶ防災・物流拠点集積エリア間の円滑な移動に支障があります。



事業後前の状況

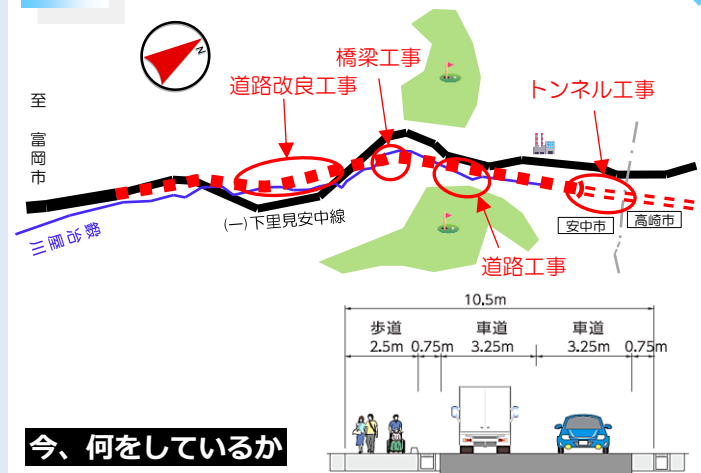
事業後

◆ バイパス整備により高崎・安中～富岡エリア間の移動が円滑になり、災害時における広域的な救命救助や被災地への支援物資輸送などが可能となります。



事業後のイメージ

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度はトンネル工事・道路改良工事・橋梁架設工事を実施します。



鍛冶屋川下部工工事の様子

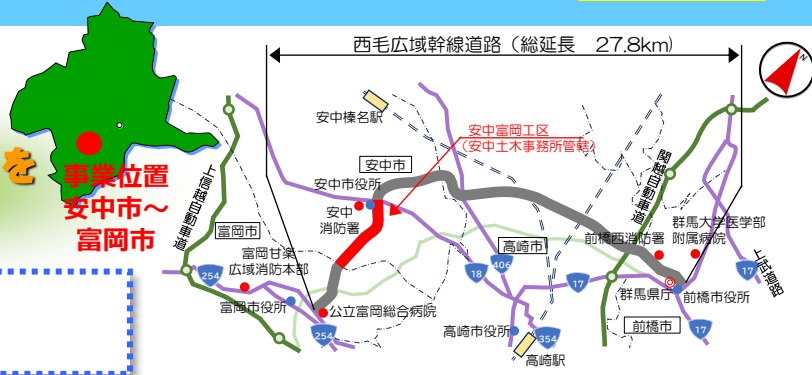
成果を示す項目	実施前
富岡市役所～群馬県庁所要時間	62分

実施後(目標)
38分(24分短縮)

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路をつくりま



地元の声

- ・災害時における安全な広域交通網を確保してほしい。(地元住民)
- ・富岡から前橋への通勤時間が短くなるので、早く完成してほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 安中市安中～富岡市上高尾
- 事業内容: バイパス整備 延長6.3km 道路幅10.5m～17.0m
- 事業期間: 平成28年度～
- 緊急輸送道路: 該当(第1次緊急輸送道路)
- 現在の交通量: 12,592台/日(現道 自動車) (令和3年度) 11人/12時間(現道 歩行者) 35台/12時間(現道 自転車)
- 計画交通量 : 9,700台/日(バイパス) (令和22年度) 7,900台/日(現道)

事業前

◆ 現道では通勤時間帯を中心に交通渋滞が発生しており、移動に時間がかかるため、高崎・安中～富岡を結ぶ防災・物流拠点集積エリア間の円滑な移動に支障があります。



事業前の状況

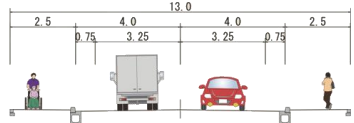
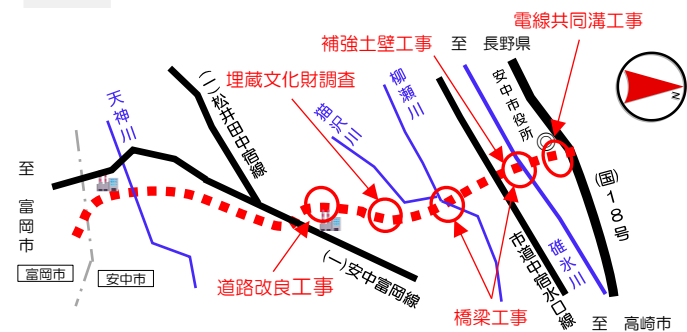
事業後

◆ バイパス整備により高崎・安中～富岡エリア間の移動が円滑になり、災害時における広域的な救命救助や被災地への支援物資輸送などが可能となります。



事業後のイメージ

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は用地取得、埋蔵文化財調査、橋梁工事、道路改良工事、電線共同溝工事を推進します。



成果を示す項目	実施前
富岡市役所～群馬県庁所要時間	62分

実施後(目標)
38分(24分短縮)

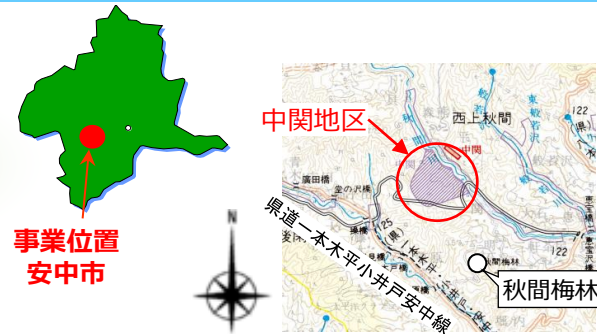
どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

地すべり防止施設をつくりました

地元の声

- ・近年全国で毎年のように土砂災害のニュースを見て不安です。(地元住民)
- ・山間部のため、地すべりが発生した際の交通網の寸断による孤立が不安です。(地元住民)



事業の概要

- 事業箇所: 安中市西上秋間
- 事業内容: 集水井工2基、横ボーリング工
- 事業期間: 平成28年度～令和7年度

※ 集水井(しゅうすいせい)とは、地すべりの原因となる地下水を、井戸を掘って効率的に集水し、安全に排水するものです。

事業前

- ◆ 地すべり活動に起因する、斜面の滑落により、人家への被害が発生するおそれがあります。



事業前の状況

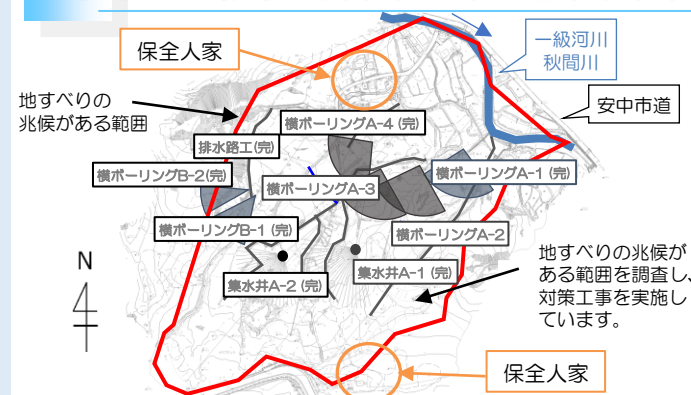
事業後

- ◆ 集水井を整備し地下水を排水することで、地すべりによる被害のリスクを軽減します。



集水井A-1の完成状況 (R3.3)

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度に事業が完成し、土砂災害のリスクが軽減されました。



集水井



横ボーリング工

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	13戸

実施後(目標)
0戸

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

歩道を整備します

地元の声

- ・大型トラックの通行や、スピードを出す車が多いので事故にあわないか不安です(地元児童)
- ・狭いところを歩いているこどもたちを見ていると車と接触しないかハラハラしています(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 安中市松井田町小日向
- 事業内容: 歩道整備 延長650m、歩道幅員2.5m
- 事業期間: 令和4年度～
- 現在の交通量: 3,968台/日(自動車) (R3年度) 36人/12時間(歩行者) 28台/12時間(自転車)

事業前

◆ 歩行空間が無いため、通学する児童が自動車と接触するなど交通事故のおそれがあります。



事業前の状況

事業後

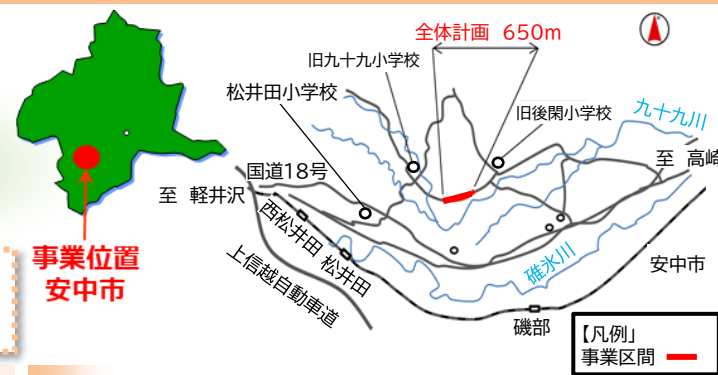
◆ 歩道が整備されることにより、通学する児童などの歩行者の安全な通行空間が確保されます。



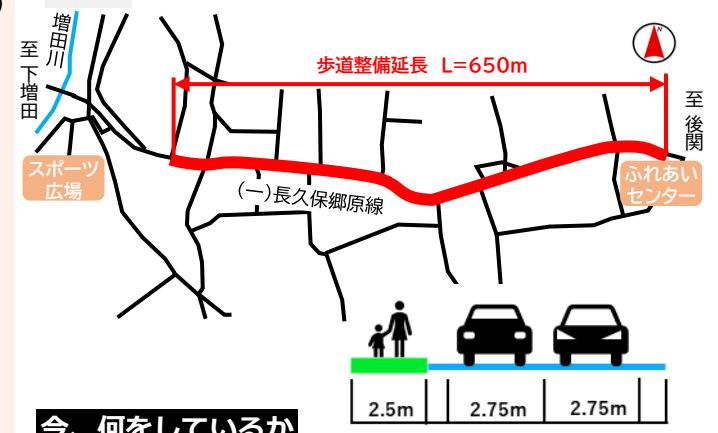
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
幅員2m以上歩道の整備率	0%

実施後(目標)
100%



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は引き続き、歩道整備に必要な用地取得の進捗を図ります。



どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

歩道を整備します

地元の声

- ・通学路における生徒・児童の事故を防ぐため、歩行者・自転車の安全を確保してほしい(地元住民)
- ・道路のカーブが連続し見通しが悪いため、見通しをよくしてほしい(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所:安中市下磯部～磯部四丁目
- 事業内容:歩道整備 延長1,200m、歩道幅員2.5m (令和3年度) 21人/12時間(歩行者) 20台/12時間(自転車)
- 事業期間:令和6年度～

事業前

◆車道の見通しが悪く、路肩や歩道が狭いため、通学することもと自動車と接触するなどの交通事故のおそれがあります。



事業前の状況

事業後

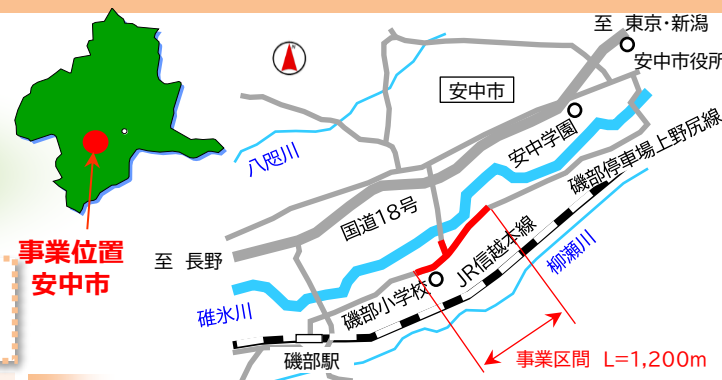
◆歩道が整備され、道路線形も改善されることで、通学することもと安全で円滑な通行空間が確保されます。



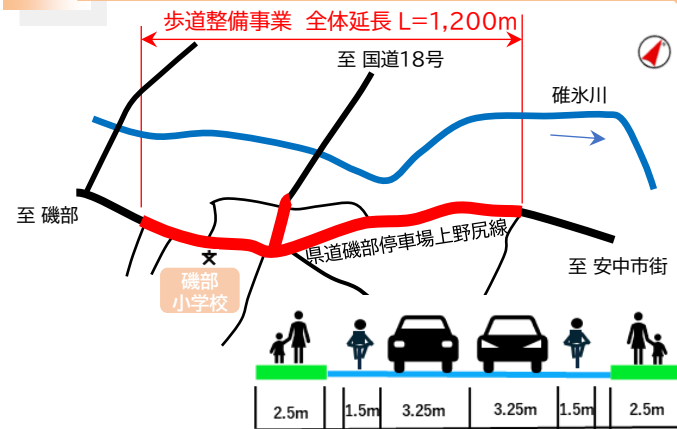
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
幅員2m以上歩道の整備率	0%

実施後(目標)
100%



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は歩道整備に必要な用地調査を行います。



整備予定箇所

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

道路への落石を防ぐ施設を作ります

地元の声

・落石が発生すると集落が孤立してしまうため、安全に通れるようにしてほしい。(地元住民)



事業の概要

- 事業箇所: 安中市西上秋間
- 事業内容: 落石対策 6箇所
- 事業期間: 令和7年度～
- 現在の交通量: 25台/日(自動車) (令和3年度)
- 緊急輸送道路区分: 指定無し

事業前

◆ 道路法面の浸食が進行しており、大雨等の際には、落石や土砂崩落が発生して道路が寸断され、孤立集落が発生するおそれがあります。



道路への落石・土砂流出のおそれ

事業前の状況

事業後

◆ 法面の落石対策を行うことで、落石や土砂崩落による道路の寸断を防止し、孤立集落が発生するリスクを軽減します。



事業後のイメージ

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



凡例
● 対策予定箇所 6箇所

今、何をしているか

令和8年度は、国有林・保安林内で工事を実施するための手続きを進めます。



道路への落石・土砂流出のおそれ

成果を示す項目	実施前
落石危険箇所数	6箇所

実施後(目標)
0箇所

まついだかるいざわ きたのまき 県道松井田軽井沢線（北野牧工区）孤立対策事業

R8新規事業

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

道路の洗堀を防ぐ施設をつくります

地元の声

- ・群馬県と長野県を結ぶ重要なルートなので安全に通れるようにしてほしい。(地元住民)
- ・災害が発生すると孤立してしまうため、安全に通れるようにしてほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所:安中市松井田町北野牧
- 事業内容:根継ぎ工 1箇所
- 事業期間:令和8年度～
- 現在の交通量:243台/日(自動車)(令和3年度)
- 緊急輸送道路区分:指定無し

事業前

- ◆ 道路擁壁下の浸食が進行しており、大雨等の際には、土砂崩落が発生して道路が寸断され、孤立集落が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 法面の洗堀対策を行うことで、道路崩落による道路の寸断を防止し、孤立集落が発生するリスクを軽減します。

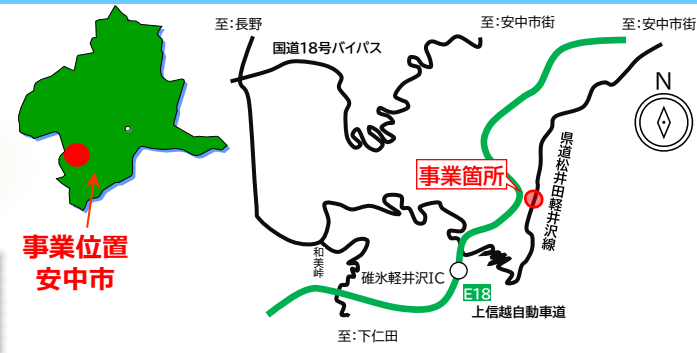


根継工設置

事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
洗堀危険箇所数	1箇所

実施後(目標)
0箇所



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度から新規事業化し、現地測量を実施します。



どのような未来を目指すための事業か

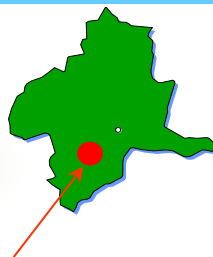
土砂災害リスクを軽減するため

擁壁をつくります

地元の声

- ・急勾配の山があるため、大雨が降ったりすると非常に心配。(地元住民)
- ・人家をがけ崩れから守っていただきたい。(地元住民)

事業位置
安中市



事業の概要

- 事業箇所: 安中市安中
- 事業内容: 擁壁工 L=100m
- 事業期間: 令和7年度～

事業前

- ◆ 斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

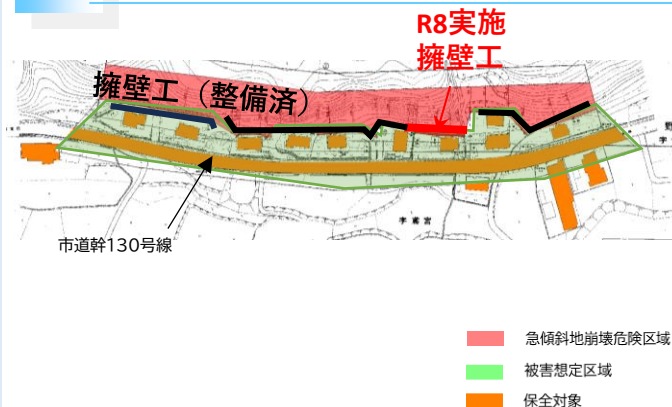
事業後

- ◆ 擁壁をつくることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、擁壁の工事をを行います。

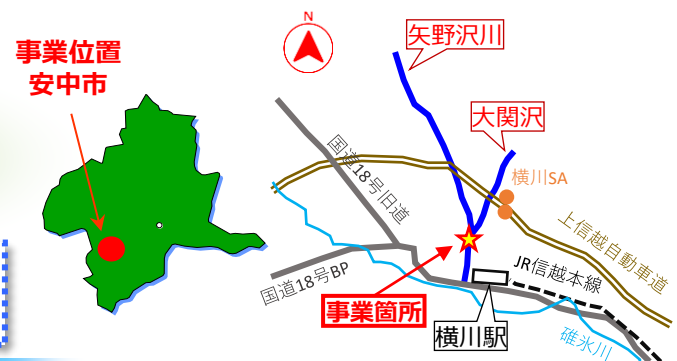


成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
被害を受けるおそれのある人家	13戸	0戸

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため **流木捕捉工をつくります**

地元の声
 ・台風や大雨が降ると流木が河川をせき止めて氾濫や被害を引き起こす心配があるので、早急な対応を望んでいる。(地元住民)



事業の概要

- 事業箇所: 安中市松井田町横川
- 事業内容: 流木捕捉工
- 事業期間: 令和7年度～

事業前

◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。

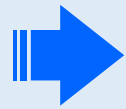
事業前の状況

事業後

◆ 流木捕捉工の整備により、大雨等による流木を原因とした被害のリスクを軽減します。

事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある重要交通網	1箇所 (国道18号)



実施後(目標)
0箇所

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか
 令和8年度は、流木捕捉工設置工事を実施します。



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

流木捕捉工を
つくります

地元の 声

・台風や大雨が降ると流木が河川をせき止めて氾濫や被害を引き起こす心配があるので、早急な対応を望む。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 安中市松井田町横川
- 事業内容: 砂防堰堤改修(流木捕捉工、堰堤補修)
- 事業期間: 令和7年度～

事業前

- ◆ 溪流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

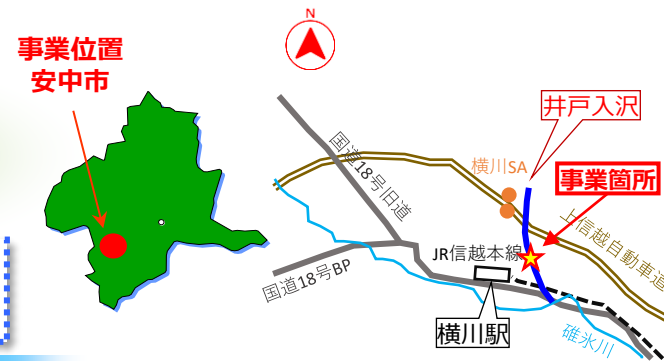
- ◆ 砂防堰堤の改修により、大雨等による流木を原因とした被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある重要交通網	1箇所 (国道18号)

実施後(目標)
0箇所



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は砂防堰堤改修の詳細な設計を行います。

